

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

# F-FACT

fact > Fukui advanced companies' try

[特集] 認定制度を活用し企業価値向上を図る



株式会社  
サカイエステック



公益財団法人 ふくい産業支援センター

Vol. 65



## ミーティングテーブルで話し合う女性活躍推進メンバー



読んで楽しくなるような投稿をしているインスタグラム

ながら一緒に過ごせます」と、メンバーの実体験から始まつた制度もあると教えてくれた黒川さん。約三

# イメージ向上や人材確保へ、女性社員が認定制度に貢献

管工事、空調設備工事などの建設設備事業に携わる株式会社サカイエスティックは、「社員ファースト企業宣言」および「ふくい女性活躍推進企業」で認定取得・表彰を受賞。認定制度で認められた幅広い取組の経緯と今後の展望を、女性活躍推進グループの黒川絵理氏と奥尾啓子氏に伺いました。

語言制度・表章について  
女性グループの取組



黒川氏（左）と奥尾氏（右）

やふくい女性活躍推進企業をはじめ、多彩な認定制度を取得している同社。各種認定の基準を満たす働きやすい職場整備や女性が活躍しやすい環境づくりは、同社の女性活躍推進グループの活動が貢献しているといいます。

女性活躍推進グループは、5年前に黒川氏が中途入社したことをきっかけに、社長の発案で発足しました。「最初は何かをするためというより、割りとふわっとした感じで始まりました」と黒川氏は振り返ります。現在20～60代の8人の女性メンバーで構成され、勤務時間内に空いた時間



「社員ファーストアワード」や「ふくい女性活躍推進企業」で表彰を受賞

社内外で活動の幅を広め  
会員登録

気も良く、子どもがいても安心して

2年前から、社長のすすめでSNSでの情報発信も始めました。毎日更新するインスタグラムは写真の見せ方にひと手間加え、3千人を超えるフォロワーを獲得するまでに。「直接に来られる方は、必ずSNSを見たと言つてくれます」と奥尾さんは手応えを語ります。

り上げる駅前工事現場のイルミネーションや地域イベントへの参加、社員が出演するTVCなど、社外に向けたPRにも力を入れています。また、学生の参加が多い「建設技術フェア」では、2年連続ベストブース賞を獲得。「今年も受賞を目指します」と意気込みます。社内向けの新しい取組として、「みんなが快適に仕事できる空間」となる社内カフェの開設も提案中です。

## DATA



株式会社サカイエステック

**所在地** 福井市成和2丁目1009-2  
**代表者** 代表取締役 山岸 康弘  
**事業内容** 建設業 設備工事業 管工事業  
**電話番号** 0776-30-0255  
**URL** <https://s-stec.co.jp/>



たいです」と、黒川さんは今後の展望を語りました。

つながり、5年間で28人の社員増を実現。企業のイメージアップや人材採用などで、確かな成果をもたらしています。「ただ社員数は増えました」と、女性社員も増員してやしていくけたら。女性社員も増員し

で子どもの預け先がなかつた時、社長が「一緒にくればいい」といつつくれたことで生まれた制度です。社内にキッズルームを設け、仕事をし

や配偶者の体調不良や学校行事にな  
ど、男女共に誰もが働きやすい職場  
づくりを目指しました。

削減を果たしました。

るDX（デジタルトランスフォーメーション）計画を立案しました。その一環として、男性が圧倒的に多い建設業界で、施工現場の補助業務に女性社員を起用。現場の施工管理者と社内の女性社員が、クラウドサービスを使つて施工状況の記録写真をリアルタイムで共有し、従来は施工管理者が作成することで残業時間の3割

DX計画の推進で目指す  
男女共に働きやすい職場

認定制度を活用し  
企業価値向上を図る

## Contents

表紙 (株)サカイエステック  
特集 認定制度を活用し  
企業価値向上を図

- 1 [CASE1]株サカイステック
  - 3 よろず支援拠点CO座談会
  - 6 本誌に登場する認定制度一覧
  - 7 [CASE2]テラオライテック株
  - 8 [CASE3]片山機械株
  - 9 [CASE4]株長吉組
  - 10 [CASE5]株日本エー・エム・シー
  - 11 今月の注目企業 株マスターべー
  - 13 総合相談窓口からのご案内
  - 15 ふくいDXニュース
  - 16 人材育成部通信
  - 17 グッドデザインシンキング
  - 18 こんにちは!FOIPです。
  - 19 インフォメーション
  - 21 新スポット巡礼

国や県等が定めた実施項目や基準を満たすことが求められる企業認定・表彰制度は、これをクリアすることで社内での取組が進むと同時に、公に認められた活動として信頼性向上につながるなど、企業にとってさまざまなメリットがあります。

今回の特集では、こうした認定制度等を活用して企業価値の向上を図る県内事業者を取材。認定取得のきっかけからその後、そして今後の展開等を含めた取組を紹介します。



よろず支援拠点コーディネーター座談会

#### ～認定・表彰制度をどう活用するか～

「」では、企業経営の相談窓口「福井県よろず支援拠点」のコーディネーター（専門家）3名による座談会をお届けします。認定・表彰制度に取り組む意義やそのメリット、認定取得を検討する際の専門家の活用方法などをお話をいただきました。（本稿は3名による座談会を二元に再構成したものです）

今回の特集は「認定・表彰制度」の活用です。事例で紹介している企業にもお聞きしているところですが、認定取得に取り組む意義についてどう思われますか。

たいという外面の話でなく、働き方や会社の方向をどうしたいかという内面をしっかりと考えていかないと、認定取得が逆に従業員の不満にもつながり兼ねません。

限り、全部に取り組むことができるわけではない。実施項目を絞ることが必要で、何のためにやるのか、それが自社にとってどういうメリットがあるのかというのを踏み込んで考えるべきでしよう。

**酒井氏**…ただし、認定を取得したことだけをホームページに載せている企業も目立ちます。大事なのは認定後の活用なので、認定取得の前後でどう変わったかというアピールが不足しています。求職者の方に対して、この会社ならば話を聞いてみたいと思わせるような点をしつかり伝える工夫が必要です。

であるというメリットを訴えるべきかと思います。

**白崎氏**：厚生労働省が推奨する「えるぼし認定」や「くるみん認定」は認定取得までのハードルが高い。認定の申請をしてすぐに取得できるわけではなく、行動計画を作成し、目標を達成して初めて認定を受けるので3～5年かかります。その意味では、この認定を受けた企業は、目的も活用もしっかりとしている企業だといえますね。

**計画を立ててそれを実行する。会社の中でもそれをしつかりやつていくことが、認定を受ける上での社的なメリットとも言えそうですね。**

**白崎氏**：少し話がずれますが、持続化補助金やものづくり補助金の申請書などは、一番基礎になるのは「経営革新計画」なのかなと思うのですよ。これをしつかり作った会社は、その後、補助金利用のために新しい計画を作る際にも取り掛かりやすいですし、基礎がしつかりしているなと感じます。

**小林氏**：計画をドキュメント化することで、考えが磨かれるという面もありますしね。

**[アドバイス内容]**  
創業や経営革新、新分野進出の計画策定支援、就業規則や雇用／契約等の労務管理、各種補助金の計画策定支援



株式会社KYAMサポート  
福井県よろず支援拠点  
サブチーフコーディネーター  
  
しらさき たかゆき  
**白崎 貴之 氏**



Vivace 代表  
福井県よろず支援拠点  
サブチーフコーディネーター  
**さか い つねのり  
酒井 恒了 氏**



福井県よろず支援拠点  
チーフコーディネーター  
**小林 悟志 氏**

## [アドバイス内容]

創業や経営革新、新分野進出の計画策定支援、就業規則や雇用 / 契約等の労務管理、各種補助金の計画策定支援

**白崎氏**.. 計画作成をコンサルタント

等に丸投げした会社と自社で考えた  
作った会社では、その後が全然違  
ます。他人まかせの計画では肝心の  
実行ができないですね。「えるばし  
認定」は女性活躍、「くるみん認定」  
は子育て支援の認定制度ですが、特  
に近年、取得推進の傾向が強まっ  
ていると感じています。これらは、行  
動計画を作成し、目標を達成して初  
めて認定を受ける仕組みなので、こ  
れらの認定を活用して具体的に社内  
の労働環境を高めながら、一方で補  
助金の利用の幅も広がるのではないか  
かと思います。



**小林氏**.. 自社だけで定めにくいこと

でも、認定制度を使えば、認定まで  
の手順が示され、KPIなどの目標  
設定もしやすい。要するに、企業の  
独自性を出しつつ、基準に沿って取  
り組むことで制度の導入につながり  
やすくなっているので、上手に活用  
したいですよね。

**皆さん**は福井県よろず支援拠点で  
企業の方のご相談に対応しているわけ  
ですが、認定取得をめざす際に専門  
家をどう活用すれば良いでしょうか。

**白崎氏**.. 具体的には、次の展開を視  
野に入れ、認定を取得するメリット  
について、専門家に相談してはどう  
かということです。

**酒井氏**.. 例えばISOの話でいうと、  
監査を受けるための資料準備などで  
大忙しどなるケースが多いのですが、  
本当にそこまでして取得する意味が  
あるのかと思うことがあります。普  
段セスをしっかり整えてちゃんと運  
用ができるこの方が大切なのは  
ないかと。いつでもISOを取れる  
という状況になつていれば、資格取  
得は不要なのではないかと思うので  
す。

**白崎氏**.. 認定は基本1回きりですが、  
認定を受ける前に課題が明  
確になつているかも重要じゃないで  
すか。課題がはつきりしているとこ  
ろはうまく活用できます。

**酒井氏**.. 取り組むべき課題が明  
確になっている会社は、情報収集や準備  
もちゃんとしていますよね。昨年  
は1年以上前から情報収集していく、  
インボイス導入についても、某社で  
導入のメリットや何をすべきかが明  
確になつてきました。ここは外部の  
専門家に任せようとか、そういう作  
戦もしっかりと考えていて準備ができ  
ていたので、導入がスムーズに進み  
ました。

運用はすっと続きます。専門家は様々  
な相談を受けていて、認定取得後の  
問題点など事例を踏まえてアドバイ  
スできるので、そういう意味で活用  
してもらえば良いかと思います。

**酒井氏**.. 認定を取つていいことばかり  
ではない。認定取得で人手や費用がか  
かる場合もあります。やるのならば必  
要なお金を払うという覚悟をもつてほ  
しい。そんな助言もできます。

**小林氏**.. 認定制度ありきではないで  
すからね。

**小林氏**.. 認定を受ける前に課題が明  
確になつているかも重要じゃないで  
すか。課題がはつきりしているとこ  
ろはうまく活用できます。

**小林氏**.. 認定制度ありきではないで  
すからね。

**小林氏**.. 認定取得で人手や費用がか  
かる場合もあります。やるのならば必  
要なお金を払うという覚悟をもつてほ  
しい。そんな助言もできます。

**酒井氏**.. 認定を取つていいことばかり  
ではない。認定取得で人手や費用がか  
かる場合もあります。やるのならば必  
要なお金を払うという覚悟をもつてほ  
しい。そんな助言もできます。

**小林氏**.. 認定制度ありきではないで  
すからね。

**小林氏**.. 認定を受ける前に課題が明  
確になつているかも重要じゃないで  
すか。課題がはつきりしているとこ  
ろはうまく活用できます。

**小林氏**.. 認定を取つていいことばかり  
ではない。認定取得で人手や費用がか  
かる場合もあります。やるのならば必  
要なお金を払うという覚悟をもつてほ  
しい。そんな助言もできます。

専門家の見地から、客観的に会社全  
体がどうなのかを見渡して、全体最  
適を考慮した提案ができるので、そ  
ういった意味で活用いただけるかと思  
います。取り組む目的の確認もそ  
うですが、その認定を取得するのが適  
切かどうかの客観性はとても重要な  
ところですからね。

また、計画づくりと計画作成後  
モニタリング。PDC.Aをして定  
着させる部分で経営者をフォローし  
ていくことも専門家の役目と考え  
ていますので、ぜひご相談ください。

ういう意味で活用いただけるかと思  
います。取り組む目的の確認もそ  
うですが、その認定を取得するのが適  
切かどうかの客観性はとても重要な  
ところですからね。

また、計画づくりと計画作成後  
モニタリング。PDC.Aをして定  
着させる部分で経営者をフォローし  
ていくことも専門家の役目と考え  
ていますので、ぜひご相談ください。

ういう意味で活用いただけるかと思  
います。取り組む目的の確認もそ  
うですが、その認定を取得するのが適  
切かどうかの客観性はとても重要な  
ところですからね。



## 本誌に登場する認定制度一覧

今回の特集で取り上げている事例企業が取得している主な認定・表彰制度を紹介します。  
このほかにも多数の認定制度などが設けられていますので、下記の2次元コードより当支援センターの「国・県の認定制度のリンク集」をご覧ください。なお、制度の詳細や取得方法などは各制度のホームページでご確認ください。

### 本誌にて取り上げた主な認定制度等

制度名	制度概要
ふくい女性活躍推進企業	県内企業における女性活躍をさらに促進するために積極的に取り組む企業を認定する制度。経営トップが女性活躍に対する考え方を宣言し、女性活躍推進員の配置、女性の採用／登用や育成について具体的取り組んでいる企業が対象となります。
社員ファースト宣言企業	県内企業における社員の働き方の改善（有給取得、フレックスタイム制等）や誰もが働きやすい職場環境づくり（業務改善、福利厚生等）に取り組む企業を認定します。
福井県カーボンニュートラル推進宣言	2030年度の県内の温室効果ガス排出量の49%削減（2013年度比）、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて全社を挙げた省エネ活動や、脱炭素に向け人材育成等に取り組む企業を認定します。特に先進的にカーボンニュートラルの取組を行っている企業には、カーボンニュートラル推進企業表彰としてアワードが贈呈されます。
健康経営優良法人認定 優良法人プライト500	特に優良な健康経営（従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組むこと）を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、日本健康会議が認定する顕彰制度です。優良法人プライト500は中小規模法人部門のうち、特に優れた取組を行った上位500の企業に与えられる称号です。
DX推進宣言企業	ふくい産業支援センターが派遣する専門家等の助言を受けて経営トップを中心に自らのDX（デジタル・トランスフォーメーション）にむけて、主体的にDXの取組を進めることや、社員一丸となって活動することを宣言する企業を認定する制度です。
えるばし認定	一般事業主行動計画の策定・届出を行った企業のうち、女性の採用（労働者割合等）、継続就業を含めた働き方や管理職比率等の5つの基準について一定の要件を満たした場合に認定が受けられます。上位のプラチナえるばし認定はえるばし認定企業のうち、一般事業主行動計画の目標達成や女性の活躍推進に関する取組の実施状況が特に優良である等の一定の要件を満たした場合に認定されます。
くるみん認定	一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、男性労働者の育児休業等取得率が10%以上や、計画期間における女性労働者の育児休業等取得率が75%以上等、従業員の仕事と育児の両立支援に取り組む企業が受けられる認定制度です。上位のプラチナくるみん認定は、くるみん認定と比べより高い数値目標の行動計画を策定・実施し一定基準を満たした場合に認定されます。さらにプラス認定は、不妊治療を受けながら安心して仕事の両立にも取り組む企業を認定する制度です。
パートナーシップ構築宣言	企業規模の大小に関わらず、サプライチェーン全体の付加価値向上、大企業と中小企業の共存共栄を目指し、企業が「発注者」の立場で自社の取引方針を宣言する制度。主にオープンソリューションやIT実装等の新たな連携や、下請け企業との取引適正化（価格決定、支払い条件、知的財産等）について宣言するものです。

#### ○国・県の認定制度等のリンク集

※全認定制度を網羅しているものではありません。



※当支援センターでは認定制度取得の  
ご相談も可能です。(p13-14参照)



# 誰もが働きやすい職場づくりに認定制度の基準を活用

建設機械向け高圧配管用継ぎ手でトップシェアを誇る株式会社日本エー・エム・シーは、このほど厚生労働省が子育てサポート企業を認定する「プラチナくるみんプラス」に認定されました。以前から働きやすい職場づくりに取り組み、女性活躍の「えるぼし認定」など多数取得する同社 代表取締役の北川浩文氏にお話を伺いました。

**業務効率化と体制整備で男性育休が当たり前の風土に**

同社は社長方針の主要項目の一つに「ダイバーシティ推進・働き方改革・健康経営」の実践を掲げています。

「くるみん認定」は子育て支援についての行動計画を策定・実施し、一定期間を満たした企業を認定する制度で、より高い水準の取組を達成した企業を認定する「プラチナくるみん」、不妊治療と仕事の両立にも取り組む「同プラス」があります。日本エー・エム・シーは今年4月10日、県内で2社目となる「プラチナくるみんプラス」に認定されました。

同社は、働き方改革やダイバーシティの考え方があくまで浸透し始めた2016年以前から、社員ファーストの活動を続けてきました。頑張っている人を大切にしたい、やりがいのある会社でありたいという想いが大本にあり、働きやすい職場づくりを目指す企業を認定する様々な制度がこれにマッチしたことから、積極的に活用されてきたそうです。

## 県内2社目となる「プラチナくるみんプラス」認定



代表取締役 社長執行役員  
北川 浩文 氏



同社の想いが伝わる多数の認定証や表彰状

## DATA



### 株式会社日本エー・エム・シー

所在地 福井市市波町13番地8号  
代表者 代表取締役 社長執行役員 北川 浩文  
事業内容 高圧配管用継ぎ手の製造・販売  
電話番号 0776-96-4631  
URL <https://www.j-amc.co.jp/>

同社HPは  
コチラ!



「くるみん認定」は子育て支援についての行動計画を策定・実施し、一定期間を満たした企業を認定する制度で、より高い水準の取組を達成した企業を認定する「プラチナくるみん」、不妊治療と仕事の両立にも取り組む「同プラス」があります。日本エー・エム・シーは今年4月10日、県内で2社目となる「プラチナくるみんプラス」に認定されました。

同社は、働き方改革やダイバーシティの考え方があくまで浸透し始めた2016年以前から、社員ファーストの活動を続けてきました。頑張っている人を大切にしたい、やりがいのある会社でありたいという想いが大本にあり、働きやすい職場づくりを目指す企業を認定する様々な制度がこれにマッチしたことから、積極的に活用されてきたそうです。

# DXで効率化し更なる事業拡大へ

主に官公庁の土木工事や舗装工事を行っている株式会社長吉組。測量機器や重機のDX化に取り組んでいる同社は、さらにドローンや3Dスキャナーによる測量などその活用の幅を広げておられます。当支援センターの「ふくいDX推進宣言企業」登録の経緯やその効果について、代表取締役の川島昌欽氏にお話を伺いました。

## D新入社員の入社がDX推進のきっかけに



代表取締役 川島 昌欽 氏

同社がDX（デジタルトランスフォーメーション）を考え始めたのはちょうど6年前。入社した未経験の若手社員を、即戦力として現場で活躍してもらうにはどうすればよいかを考えたことがきっかけです。土木工事は、現場で測量し重機等による施工を行うサイクルを繰り返します。測量時は重機が稼働できない時間がおり、作業効率に課題がありました。「測量部分を効率化できれば工事全体のリードタイムが縮まります。一方の施工部分の効率化も考えましたが、技術面等から早期のデジタル化は難しかったため、まずは測量部をから始めました」と川島氏は当時振り返ります。

現在は、測量・施工ともにデジタル化を進めている同社ですが、施工部分は特に大変だったようです。慣れないシステム等の運用により作業の進捗が思うようにいかず、デジタル化の効果を実感するまでは半年の期間が必要だったそうです。

## デ補助金を活用しデジタル化を加速化

施工部分のデジタル化にともない

**一社内外へ意思表示のため「推進宣言企業」に登録**



ふくいDX推進宣言企業登録証

同社は、社内外に対してDX推進の意思表示をするために、当支援センターの「ふくいDX推進宣言企業」に登録されました。「取組を始める前は、ツールを導入すれば解決すると

測量のリードタイム短縮や、今までベテランがない中でも一定規模の施工工事を完成できました。まだベテランと同等レベルとまではいきませんが、完成できたことにすごく付加価値を感じています」と川島氏。

「センサーを導入してからは、1人での施工体制では受注できなかつた工事を受注できるようになつたことで、売上も堅調に増加しているそうですね。社員には売上や施工数等を伝えており、会社全体でDXの効果を共有しています。

活用したのは、ふくい産業支援センターのDX加速補助金です。本来、重機の操作はオペレーターが長年の経験で培う技術ですが、ベテランオペレーターの減少もあり、他の社員でも操作できるよう、重機に操作をアシストするセンサーを導入しました。

「センサーを導入してからは、1人での施工体制では受注できなかつた工事を完成できました。まだベテランと同等レベルとまではいきませんが、完成できたことにすごく付加価値を感じています」と川島氏。

「センサーを導入してからは、1人

もベテランがない中でも一定規模の施工工事を完成できました。まだ

まだベテランと同等レベルとまではいきませんが、完成できたことにすごく付加価値を感じています」と川島氏。

「センサーを導入してからは、1人

もベテランがない中でも一定規模の施工工事を完成できました。まだ

# 今月の注目企業

## 福井発のヘアカラー専門店を多店舗展開 株式会社マスターピース



### 株式会社マスターピース

**所在地:** 福井市種池 2-611  
**代表者:** 代表取締役 村田 隆行  
**事業内容:** ヘアカラー専門店の運営および  
 フランチャイズ店舗への経営指導  
**電話番号:** 0776-97-8973  
**URL:** <https://master-peace.jp/>

同社HPは  
コチラ!



代表取締役 村田 隆行 氏

女性の髪を華やかに演出するヘアカラー。そのサービスに特化した専門店を展開するのが、福井市に拠点を置く株式会社マスターピース。現在、県内外でFC店舗を運営する同社は、さらなる店舗拡大に向け歩みを進めています。設立の経緯、サービスの概要、今後のプランなどについて、代表取締役の村田隆行氏に伺いました。

### 弱点から生まれた新業態 身近な母の存在ヒントに

40～60代女性を主な対象に、同社がヘアカラー専門店を初出店したのは2014年。薬剤選定を自動化する独自システム導入や、材料の一括仕入れなどのローコストオペレーションを強みに、「早い・安い・きれい」を掲げて顧客の心をつかんでいます。村田氏は福井県生まれ。大阪の美容専門学校を卒業後、数々の事業を手がけ、コマースなどの職を渡り歩くものの、プラットフォーマーのさじ加減で売上が左右されてしまうネットビジネス特有の問題にも直面したと言います。

村田氏はそれでもためらわず、「とにかく店を出していけば、後で回収できる」と出店を進めます。その背景には、積極果敢に経営に挑む村田氏の取組がありました。

その一つが、異業種交流会の開催と人脉です。経営者同士のマッチングを図る一方、自身も他の経営者からの情報を基に「できそうなことは何でも試してみる」という姿勢で改善に取り組みました。「試したことがあまりいくと自信につながる。がむしゃらにP.D.C.Aサイクルを回したことなどが今につながっているのでしょうか」と振り返ります。

### 独自システムの導入で 技術の平準化、コスト低減へ

コロナ禍を機に始めたヘアカラー専門店経営のオンラインサロンも新たな道の展開につながりました。「サロンメンバーから、フランチャイズ展開に関する質問があつたのがきっかけです。説明会を開いてみると感触も良く、当時のメンバーの多くが加盟してくれました」。加盟店はその後も増え、異業種からの参入組、ヘアカラー専門店で新たな収益の柱を探る美容室経営者など、さまざまな属性を持つオーナーがいるそうです。

直営とフランチャイズの二本立てによる多店舗展開は他方で技術力の平準化という問題も浮き彫りにしました。どの店でも同じく「早い・安い・きれい」をするための基盤づくりが喫緊の課題となつたのです。「色の調合マニュアルが美容師各人の頭の中にある。美容師は作業中の材料不足を恐れておおむね2割増しで色を調合する傾向があり、それが原価を押し上げる一因となっていました」

そこで同社は独自システムを開発するなどのDXを推進。作業にかかる要素を数値化して適量の材料を調合することで原価低減につなげました。同社のDXはこの1年で加速し、ローコストオペレーションを支えるべく今後も改善を加えていく予定です。

多店舗展開に合わせ、店舗コンセプト、看板など店内外のデザインなど、ブランドディングの再構築にも着手しています。当初はことさら高級さを強調せず、仕事帰りでも立ち寄れるような気軽さを売りにしていましたが、フランチャイズ店の拡大を受けて方針を変更。創業当初の「店へ



「その時改めて、リアルな場での仕事をの魅力を感じました。でも、私には現場経験が少ないという弱点がある。それでも何か社会に貢献できることがありました」という村田氏の母の存在にあります。「ホームカラーと美容室での毛染めを併用していたのです。自分だと染めムラも起きがちで面倒だと言ひながら。その面倒を解消してあげたかった」

そこで考案したのが、従来の美容室とは一線を画すヘアカラー専門店。カラーリングのみを低価格で提供し、施術が早く、クオリティの高い店を

つくる—母の存在が「人の悩みを解決して役に立ちたい」という村田氏を後押ししたのでした。

勝算を見込んで初出店を果たすもの、「当時は赤字続き」という船出。の入りやすさ」は踏襲しつつも、統一したブランドイメージづくりを進めることです。

初出店から10年。理想から動くタ イプと自己分析する村田氏は「10年後ではなく、1年後をつくる」とい う仕事観で今後の展開を見据えます。 「お客様のためにも加盟店のためにも、良心的なシステムで商売を行なうというポリシーを変えるつもりはないです」。2年後、2026年の100店舗目開店を目指し、村田氏は力を込めます。



## 相談窓口を活用しよう



無料で何度も各種専門家に相談できるのが当支援センター相談窓口の特長です。  
ここでは中小企業診断士で木曜日担当（隔週）の佐々木孝美コーディネーターの相談  
窓口を効果的に活用されているRozell代表の竹内真由美氏にお話を伺いました。



「創業を志し受講したセミナーの終了時に、講師の方からこの相談窓口を薦められたのがきっかけです。最初は創業計画づくりで、創業後に会計のことや補助金活用など、内容に応じて複数のコーディネーターに相談しました。その後でSNS活用の相談をしたのが佐々木コーディネーターでした。同性で親しみやすかったこともあり、それ以降は佐々木さんに業務改善、新商品開発や価格設定など様々な課題を継続的に相談しています。」

「竹内さんが相談窓口を利用されたきっかけは何ですか。」

「竹内さんが相談窓口を利用されたきっかけは何ですか。」

### 補助金の上手な活用をコーディネーターがサポート

「補助金もいろいろ活用されていますね。」



### 無料で何度も専門家が寄り添い伴走支援

「竹内さんは、無料で何度も専門家がアドバイス、という相談窓口を、上手に活用されている印象です。」

#### お店情報

##### ガレット&クレープカフェ Rozell(ロゼル)

平日ランチ中心のフレーク・ガレット専門店（ディナーは予約制）。福井県産のそば粉100%を使ったガレットが好評。テイクアウトや好きな時間に簡単にレンジで調理できるフローズンガレット&クレープも展開中。

住所  
福井市森田新保町3-116  
URL  
<https://rozell-fukui.com/>



「こちらの意向がうまく伝わっているかの確認や、WEB関係の用語を通訳してもらつたことも（笑）。新商品の試食も何度もお願いしました。自分が良いと思っていても、一步下がつて第三者に、しかも女性の中企業診断士という視点で意見をもらえて、自身でも納得する気つきがあるのです。」

## ふくい産業支援センター

# よろず経営相談 うけたまわります！

総勢30名を超えるプロフェッショナルが  
何度もご相談に対応します！

相談無料  
秘密厳守



### お気軽にご相談ください！

嶺北 0776-67-7421

嶺南 0770-22-0031

soudan@fisc.jp (嶺北・嶺南共通)

対応時間 毎週月曜日～金曜日（祝日除く）9:00～17:00

夜間相談（月1回・金曜日） 18:30～21:00 開催（オンラインもしくは嶺北）



嶺北 〒910-0296  
福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16  
福井県産業情報センタービル3F

嶺南 〒914-0063  
福井県敦賀市神楽町2丁目2-4  
アクアトム2F

### 1回で相談が解決しなくても…

相談は無料ですので、解決に至るまで何度もご利用ください。  
福井県よろず支援拠点や他機関等とも連携して、解決に至るまで伴走しながら  
相談対応します。

“いまどき”部下・後輩を育てるノウハウ

### 効果的なOJTの進め方

OJTは育成の基本であり、企業風土や文化を根付かせることになります。OJTを行うにあたって求められる心構えや行動を知識として理解するだけでなく、実際の教え方のツボ、職場での人間関係の効果的な関わり方や人材育成のコツを学びます。

こんな方におすすめです！

- 若手の育成手段にお困りの現場担当者の方
- 新人・若手と信頼関係を築き、自律的に働いてもらいたい方

日 時：6月12日(水) 9:30～16:30

会 場：福井県中小企業産業大学校

受講料：22,000円(消費税込)

講 師：(株)オフィスあん

代表取締役 松下 直子 氏



論理的で説得力のある提案、対策へ結び付ける

### 「なぜなぜ分析」実践セミナー

なぜなぜ分析は「直接原因」と背後にある「真因」「根本原因」を明らかにする分析方法です。問題を筋道を立て矛盾なく考える「論理的な思考法」を理解し、問題解決を進める手法を体得します。

プログラム内容

- なぜなぜ分析(5Why)とは
- 論理的思考(ロジカルシンキング)とは
- ロジカルシンキングを鍛える3つの視点
- 未然防止と再発防止のフロー



日 時：6月20日(木)・21日(金) 9:30～16:30

会 場：福井県中小企業産業大学校

受講料：33,000円(消費税込)

講 師：NPO法人ワイ・リサーチ・イノベーション  
代表理事 伊藤 雄三 氏

業務効率を上げる！若手社員のための

### タイムマネジメント入門

「ムダを省き、生産性を意識した仕事の進め方を理解する」「的確に優先順位をつける判断力を養う」「段取り法を職場で実現するための巻き込み力を身につける」という3つのテーマを基本として、本質的なタイムマネジメントスキルを習得します。



こんな方におすすめです！

- 仕事の段取り力を上げたい若手社員
- 「割り込み業務」への対応に追われて困っている方

日 時：7月3日(水) 9:30～16:30

会 場：福井県中小企業産業大学校

受講料：22,000円(消費税込)

講 師：(株)ビジネスプラスサポート

人財育成プロデューサー 麻野 由佳 氏

商品企画で自社らしさを活かす！事例から分析する

### ヒット商品の共通項と商品企画法

多くの斬新な新商品・新サービスの誕生に携わってきたマクアケのプロデューサーが講師となり、ヒット商品の共通項やヒット商品を企画する際のコツ、また前例のない商品であっても需要性を証明し事業化への足掛かりを作るプロセスをワークショップ形式で提供します。

プログラム内容

- 「自社らしい商品企画」考案ワークショップ
- 「N1インタビュー」のロールプレイ
- ビジネス化に向けた今後のプロセス



日 時：7月30日(火) 9:30～16:30

会 場：福井県中小企業産業大学校

受講料：27,500円(消費税込)

講 師：(株)マクアケ

専門性執行役員/R&Dプロデューサー 北原 成憲 氏

お問い合わせ先



人材育成部(福井県中小企業産業大学校)  
福井市下六条町16-15  
電話0776-41-3775 E-mail manabi@fisc.jp

お申込みはホームページから

中産大 検索

## ふくいデジタル推進アライアンスが発足しました！

本県産業をデジタル化で活性化させる  
新たな支援のプラットフォームが発足



「ふくいデジタル推進アライアンス」  
発足に関する協定調印式

福井県が2023年5月に策定した「ふくいNEW経済ビジョン」では、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を主要プロジェクトとして位置づけています。しかし、本県企業の状況を見ると、デジタル化に取り組む企業は増加していますが、そのスピードは速いとは言えず、特に小規模企業では足踏み傾向が見られます。その主な要因として、デジタル化を推進する人材の不足、知識の不足、資金の不足が挙げられます。こうした課題の克服を支援するため、本県支援機関等がこれまで以上に強固に連携し、企業がデジタルの力を最大限に活用するための迅速な支援体制を構築することを目的に、新たな連携と協力のプラットフォームとして「ふくいデジタル推進アライアンス」が発足しました。

### 《「ふくいデジタル推進アライアンス」概要》

発足日：令和6年5月13日(月)

運営会員：福井県、一般社団法人福井県商工会議所連合会、福井県商工会連合会、株式会社福井新聞社、

公益財団法人ふくい産業支援センター、株式会社福井銀行

実施内容：県内企業のデジタル活用のための事業企画、相談窓口、支援先紹介、状況把握等

共同事務局：公益財団法人ふくい産業支援センター(会員受付・広報担当)

株式会社福井銀行(企画・運営担当)

### バックオフィスをテーマとしたキックオフイベントを実施します

#### 《キックオフイベント概要》

主 催：ふくいデジタル推進アライアンス

テーマ

#### バックオフィス×トランスマネジメント

～間接業務にデジタルを融合させ、今より会社を強くする～

日 時：令和6年7月3日(水) 13:00～16:30 場 所：福井銀行本店 2階ホール

内 容：【基調講演①】データで見る中小企業のDX実態とDXの進め方

講 師：○経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課  
デジタル高度化推進室長 河崎 幸徳 氏

【基調講演②】デジタル活用で拓く会社の新しい視点(仮)

講 師：○サイボウズ株式会社 代表取締役社長 青野 慶久 氏(オンライン登壇)

【DX実施企業によるパネルディスカッション】

パネラー：○県内企業経営者等(3社程度)

モデレーター：○(公財)ふくい産業支援センター DX戦略アドバイザー 伊本 貴士 氏

※開催時間中は、開催場所内にて個別相談会も開催いたします。個別相談会は、事前予約も受け付けます。

本アライアンスでは賛同会員を随时受け付けます。下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先  
受付窓口

(公財)ふくい産業支援センター(ふくいDXオープンラボ)

TEL : 0776-67-7404 E-mail : dxlab@fisc.jp

ウェブサイト▶ <https://www.fukui-dxlab.com/fdaa/>



## 「複合材料の最新動向」講演会を開催 ～県内ものづくり企業の新分野展開、新事業創出、 労働生産性向上等を支援～

ふくいオープンイノベーション推進機構（FOIP）は、（公財）ふくい産業支援センター、ふくいCFRP研究開発・技術経営センターとの共催で、令和6年3月に「複合材料の最新動向」講演会を開催いたしました。業界の第一線で活躍されている講師を迎えて最新の情報をお話いただきましたので、その内容を紹介します。

「自動車への複合材料の適用と課題」のテーマで、日産自動車株式会社 生産技術研究開発センター エキスパートリーダー（プラスチック）の水谷 篤 様より、軽量化材料として期待される複合材料は、生産プロセスの革新やカーボンニュートラルへの対応が必要であること、また、自動車への複合材料の適用状況や今後の適用のための技術的な課題について、ご講演いただきました。

「材料試験機の基礎と CFRP の強度評価」のテーマで、株式会社島津製作所 分析計測事業部 Solutions COE 副主任の藤田祐輝 様より、材料試験機の基本的な原理と CFRP の代表的な強度試験の実例、X 線を用いた新しい CFRP の評価装置について、ご講演いただきました。

「三井化学 / 高分子・複合材料研究所が開発する複合材料について」のテーマで、三井化学株式会社 研究開発本部 / 高分子・複合材料研究所 繊維強化複合材グループ グループリーダーの藤原和俊 様より、軽量化素材を用いた次世代モビリティ社会 / 再エネ社会の実現を目指した、環境負荷が低い炭素繊維強化複合材料、および天然素材強化複合材料の開発についてご紹介いただきました。また、素材の処方開発だけにとどまらず、素材製造工程のプロセス設計および用途展開を見据えた部材設計まで幅広く手掛けており、その概略についてもご講演いただきました。

FOIPでは、今後も本県の強みである繊維や眼鏡などの高い加工技術を持つ県内ものづくり企業の新分野展開、新事業創出、労働生産性向上等の取組を支援していきます。



お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター オープンイノベーション推進部 プロジェクト推進室  
TEL: 0776-55-1555 (担当: 三谷、小林)



2023

グッドデザイン賞



カトラリー SARO / フラットウェアコレクション | 株式会社セキサカ

セキサカによって設立されたSAROは、変わりゆく日本の暮らしに合わせて生まれたライフスタイルブランドです。日常生活の風景からインスピレーションを得ることで、新鮮な視点で機能的なプロダクトを生み出します。また、福井を拠点にするセキサカのものづくりの歴史を受け継ぐSAROは、それぞれの製品に求められる専門性を持った職人や工場を地域に関係なく探し出すなど、日本中の様々な領域におけるつくり手と協働することに可能性を見出します。こうした業界を率いるものづくりの担い手たちとのつながりを通じて、私たちは互いにアイデアを育み、改めて日本の手仕事や産業の可能性を再考します。

デザイナーのカルロ・クロパスは、「西洋のカトラリーはある機能を持った道具に見えるのに対し、箸は人間の身体、特に指の延長として普遍的な役割を果たしている」と言います。国内外の様々な影響を受けて日本の食文化が進化していることを受け、特定の機能を持ちつつ、シンプルで明快な形、そして、人間工学に基づきバランスのとれた輪郭を制作しながら、様々な要素間の相乗効果を生み出す共通言語をつくることを追求。その結果、テーブルナイフやフォーク等、23のコレクションアイテムが誕生しました。その素材も多岐にわたり、ステンレススチール、琺瑯(ホーロー)、漆、水目桜(ミズメザクラ)など、用途に応じて最適な素材を選択。それぞれの目的や個性を活かしたアイテムの多様さが、このコレクションに真の豊かさをもたらしています。

### 【審査委員の評価】

担当審査委員 | 柳沼 周子 石橋 忠人 辰野 しづか 山田 遊 Hyungkun Yoon

全体に流れる空気感や佇まいが美しいフラットウェアコレクションである。それぞれのアイテムのデザインは視覚的にも機能的にも優れており、なかでも、レンゲやしゃもじなどのアジアに由来する道具からは、スイス人デザイナーならではの新鮮な視点を感じられ、そこから生まれた独自のフォルムに大変魅力を感じた。琺瑯やステンレス、木などの異なる素材で23種類ものアイテムを国内で実現する工場探しや、海外のデザイナーとの協業など、ディレクターのものづくりへの情熱を読み取れる。日本の手仕事や産業、道具の可能性を拓げるきっかけとなるこの取組自体も高く評価したい。

## ランチタイムコンサートを開催します



福井県産業情報センタービル1階エントランスロビーにてランチタイムコンサートが開催されます。(主催:ソフトパークふくい協同組合)どなたでも無料でご入場いただけますので、ぜひご参加ください。(退席可・途中参加)遠方からご来場の方は福井県産業情報センタービル第2駐車場をご利用ください。

〈日 時〉 6月19日(水)  
12時15分開演予定(約30分間)  
〈場 所〉 福井県産業情報センター  
1階エントランスロビー  
〈演奏者〉 ヴァイオリン 山本 紘子  
ハープ 佐々木美香

### お問い合わせ先

ソフトパークふくい協同組合事務局  
TEL 0776-67-7360



## 情報誌F - ACTの裏面広告を募集しています。

本誌F - ACTでは毎号裏面広告を募集しています。ぜひご活用ください。

掲載時期:奇数月の25日(※次号のみ7月ではなく8月中旬)

料金:49,500円(税込)

※広告データは原則イラストレータ形式をお願いします。ほかのデータ形式の場合は、要相談。発行月の10日前までに広告データをお送りください。ご利用をご検討の方は、電話またはメールでご相談ください。

### お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センターF - ACT  
担当

TEL 0776-67-7425 E-mail:kouhou-g@fisc.jp



## Information

## ベンチャー創出セミナーを開催します!



ふくい  
ベンチャー創出プロジェクト  
Fukui Venture Creation Project

## ふくいベンチャー創出セミナー ベンチャ一起業を 身近に学ぶ 3DAYS

リアル&オンライン開催

開催場所 福井県産業情報センター

※オンライン配信も行います

DAY 1 6/19(水)  
18:30-20:30

経営者が直伝!  
サービス業×ベンチャー  
店舗展開で成長したい方のための  
今から始めるべき最初の一歩

### 多店舗展開編



### 地域課題解決編



### 後継ぎベンチャー編



申込は  
こちらから



お申し込み  
お問い合わせ  
(公財)ふくい産業支援センター  
TEL:0776-67-7411 Email:venture@fisc.jp

## 事業再構築補助金第12回公募の開始

新分野展開、業態転換、事業・業種転換、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する中小企業等の挑戦を支援する補助金です。

事業類型	補助上限額 (従業員30人の場合)	補助率
成長分野進出枠(通常類型) ・ポストコロナに対応した、成長分野への大胆な事業再構築にこれから取り組む事業者向け ・国内市場縮小等の構造的な課題に直面している業種・業態の事業者向け	3,000万円	中小1/2 中堅1/3
成長分野進出枠(GX進出類型) ・ポストコロナに対応した、グリーン成長戦略「実行計画」14分野の課題の解決に資する取組をこれから行う事業者向け	中小:5,000万円 中堅:1億円	中小1/2 中堅1/3
コロナ回復加速化枠(通常類型) ・今なおコロナの影響を受け、コロナで抱えた債務の借り換えを行っている事業者や事業再生に取り組む事業者向け	2,000万円	中小2/3 中堅1/2
コロナ回復加速化枠(最低賃金類型) ・コロナ禍が終息した今、最低賃金引上げの影響を大きく受ける事業者向け	1,500万円	中小3/4 中堅2/3
サプライチェーン強靭化枠 ・ポストコロナに対応した、国内サプライチェーンの強靭化に資する取組をこれから行う事業者向け	3億円	中小1/2 中堅1/3

公募期間:令和6年4月23日(火)~令和6年7月26日(金)18:00まで  
詳細は事業再構築補助金ホームページに掲載

お問い合わせ 事業再構築補助金ホームページ コールバック予約システムから



## 【福井県からのお知らせ】

### 自動車税種別割は5/31(金)までに納めてください!

令和6年度の自動車税種別割の納期限は、5月31日(金)です。

以下の便利な納付方法を活用して、納期限までに納めてください。



#### パソコンやスマホで納付

納税通知書にあるQRコードを読み取ることで、スマートフォン決済アプリやクレジットカード、インターネットバンキングを利用したキャッシュレス納付が出来ます。

キャッシュレス納付の詳細やその他の納付方法は福井県税務課HPをご確認ください。



#### コンビニ等で納付

金融機関の窓口の他に、お近くのコンビニにおいて現金で納めることができます。

※窓口や店頭では、現金のみの取扱いになります。

#### 身体障害者手帳等をお持ちの方

所有する自動車の自動車税種別割が減免される場合がありますので、福井県税務課HPをご確認ください。

※お問合せには便利な  
AIチャットボットも  
ご利用ください。



#### お問合せ先

福井県税事務所 TEL:0776-21-8274  
嶺南振興局税務部 TEL:0776-56-2223  
※ QRコードは株式会社ソーラーの登録商標です。

# 話題の新スポット巡礼

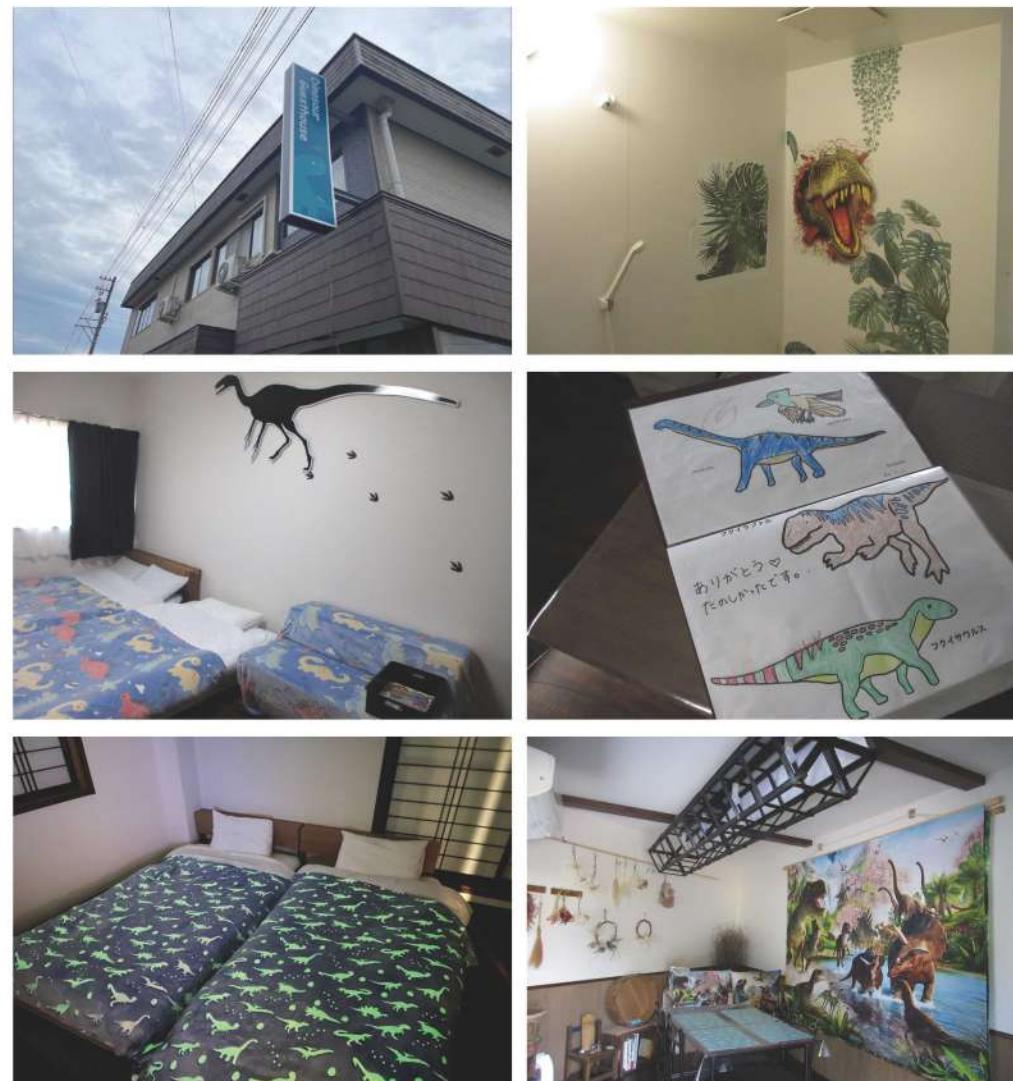
県内企業が打ち出した気になる新スポットにF-ACT編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

No.37



ダイナソーホテルズ  
所在地：勝山市昭和町3丁目1-43-5  
営業日：年中無休  
URL : <https://dinosaur-hotel.jimdo.com/>

ご来店  
お待ちしております！



ダイナソーホテルズ

## 恐竜に囲まれて夢心地 勝山市で体験型の宿泊施設を

勝山市の県立恐竜博物館から車で約5分の場所に位置する「ダイナソーホテルズ」。一棟貸しの「ダイナソーアグリ」と全5室からなる「ダイナソーゲストハウス」にはいたるところに恐竜が散りばめられています。長らく石川県で暮らしてきた山場数範さん、美千代さん夫妻が、空き家となった数範さんの実家を家族連れに喜んでもらえる宿泊施設にしたいと、県や市の補助金を活用して改装。勝山市へ移住し、2023年冬にオープンさせました。

数範さん考案のエコ恐竜ベッドは、建築廃材や間伐材を使用し、暗くなるとブランケットの恐竜の柄が光ります。参加者自らが割った胡桃を練りこむクッキーづくりをはじめとした美千代さんが行う体験イベントとともに、恐竜に囲まれながら様々な体験ができる宿泊施設としてオープン直後から外国人訪日客やスキーの若者、家族連れなど多くの方々が訪れているそう。「お子さんが自発的に見つけて楽しめるように恐竜のグッズや折り紙、塗り絵を各部屋に置いています。恐竜の着ぐるみを着て走り回る子も多くて……」と嬉しそうに語る夫妻の姿が印象的でした。

活用事業：福井県 UI ターン移住創業支援事業助成金

情報収集と情報発信、企業・イベントPR等に!  
**「ふくいナビ」ふくいの企業支援策を見つけるためのポータルサイト**をご活用ください

(公財)ふくい産業支援センターでは、県内企業の皆さまの経営に役立つ情報を集めたポータルサイト「ふくいナビ」を運営しております。「ふくいナビ」では、下記のようなサービスを提供しておりますので、ぜひご活用ください。

**イベント情報や公募情報などをまとめて見られる!**

県内中小企業支援機関による講演会・セミナー等のイベント情報や、国・県等による助成金等の公募情報など、経営に役立つ情報が盛りだくさんです。

**メールマガ、マーリングリストなどを無料で提供!**

企業と顧客、あるいは企業同士でのコミュニケーション・ツールとして利用できる、メールマガジンやマーリングリスト等の機能を、無料で提供しています。

**県内企業の情報を自ら発信!**

県内中小企業の皆さまが、自社で開催するイベントや新製品の情報などを自ら発信することができます。

ふくいナビ運営事務局  
お問い合わせ先 [(公財)ふくい産業支援センター One to One サービス推進部] TEL.0776-67-7425 E-mail info@fukui-navi.gr.jp

**本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう!**

### 企業情報メール便

販路開拓のチャンス!  
本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便（チラシ同封サービス）を毎号実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？

●次回実施号		料金	同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
VOL.66 8月中旬発行予定			A4判以下のチラシ	6,600円
			A4判超~A3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,900円
			A4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	13,200円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。  
1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター F-ACT 担当 TEL:0776-67-7425 e-mail: kouhou-g@fisc.jp

本誌に関するお問い合わせは

**fisc** 公益財団法人 ふくい産業支援センター <https://www.fisc.jp/>  
One to One サービス推進部  
TEL 0776-67-7425/FAX 0776-67-7429/E-mail: kouhou-g@fisc.jp  
〒90-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

22 F-FACT vol.65

vol.65 F-FACT 21

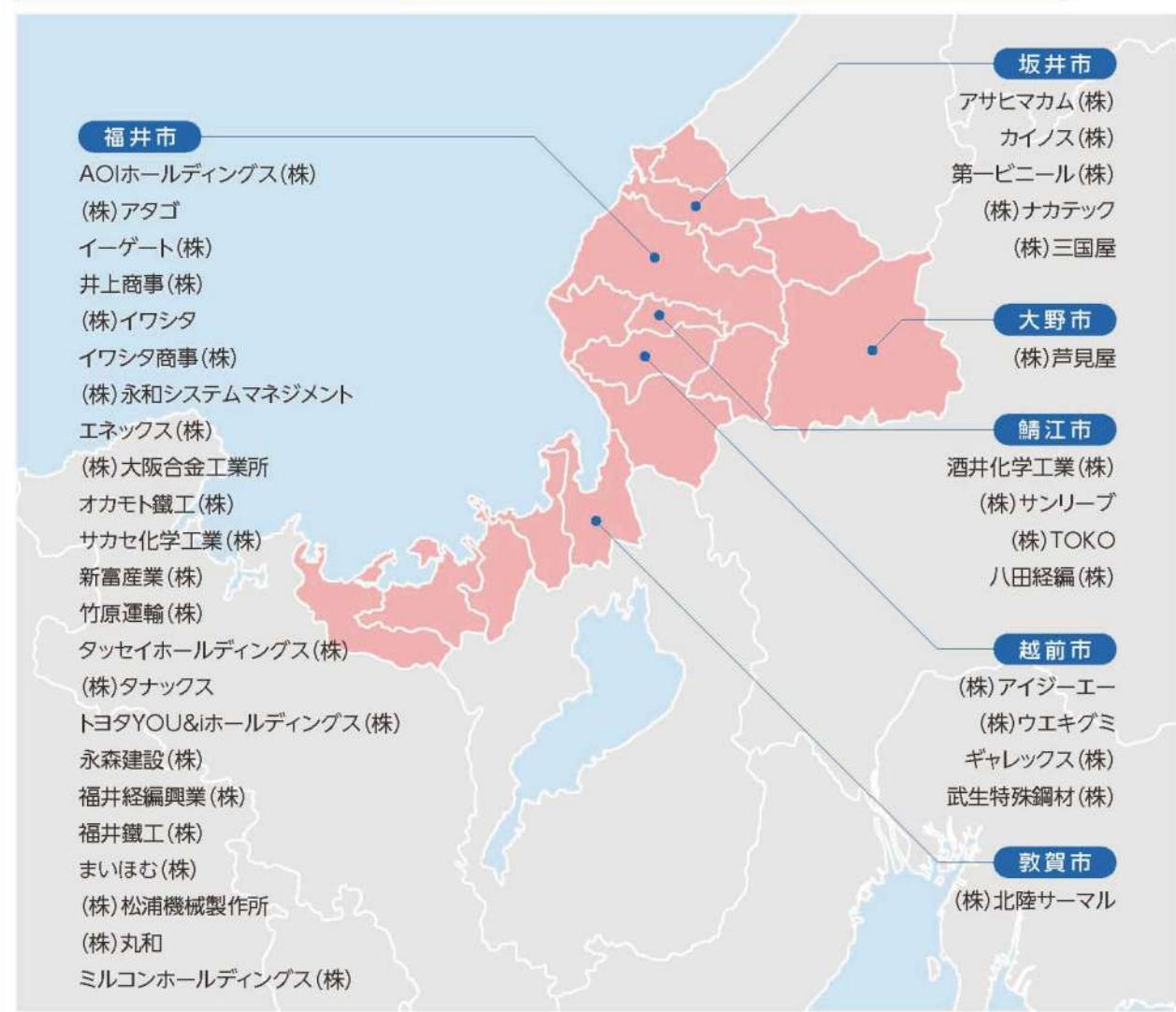
# おかげさまで創立60周年

大阪中小企業投資育成株式会社は、2023年11月20日をもって創立60周年を迎えました。

1963年の設立以来、幅広い中堅・中小企業に投資するとともに、各分野の専門コンサルタントや支援機関とも連携しながら、長期安定株主として投資先企業の経営課題の解決・成長発展を支援して参りました。今後も引き続き、「お客さまへのお役立ちを通じて社会に貢献する。」との経営理念のもと、成長意欲ある中堅・中小企業のさまざまな経営課題に応え続け、その成長発展を支援して参ります。

## 投資育成会社

## 福井県の出資先38社



大阪中小企業投資育成株式会社

〒530-6128 大阪市北区中之島3-3-23 (中之島ダイビル28階)

TEL.(06)6459-1700 FAX.(06)6459-1703

URL <https://www.sbic-wj.co.jp>